

横濱港 共濟會々報

● 會務の報告

我が横濱港仲仕にござりましては最も意義のあるり多たの期待を賜り居ります。大正十年も既に数日除すのみで迎へるのも屈指の内となりました。本會が仲仕の利益幸福を進め境遇の改善を圖り地位の向上を求めんとして嗚々の聲を揚げて居る。以來既に半歳の久しきにもなりましたが何等具體的に諸君に御満足と與へなかつた事は我々役員に深く慚愧に耐へません次第であります。が来る大正十年には必ず諸君の期待せらるる御満足と與へんと希望して居るのではありません。其の計畫の一端を發行致します。先づ第一に本會の機關新聞を發表致します。事務問題の研究會を催します。事務、簡易食堂、簡易圖書館を設置致します。更に疾病者、無料治療をなす醫療部を設けず。更に設置してあります購買部を擴張致しまして日用品にまで及ぼし廣く諸君の御便利を計る事を致します。方針であります。何卒我々幹部を御信頼下さい。一應専心本會總務の目的を達せらる。様諸君の御擁護を希望する次第であります。付しましては本會創立以來十一月末日迄に相愛扶助と申す意義に於きまして傷病者の見舞を致しました。数は患者二百十八人に對しまして見舞金五百六十七圓を贈呈して居ります。又死亡者に對しましては



の某雜誌記者と致しまして本會を賛成致した事と、常任理事西山金次郎君は二月十日胃病の爲に死せられた事。本會の誠意に遺憾とする處であります。而して理事一名常任理事一名は經費の關係上欠員としてあります。何卒御賢察の程を願ひます。終りに臨んで更に一言申上可き事は往々本會を、甚だしく眼解致しまして中傷僥倖のあられなき風評を爲す者があるとの事でありましたが我々は毫も何等痛痒を感じません。一世上の眼解を正したり辨駁をするのも餘くに見做に類するのではありません。一犬吠して萬犬實に吠ふるの江湖の唇頭にも上ります。誠に残念の至りであります。只一言本會の趣旨の在る處を御承知せう。か再應茲に申上て明に致して致さ度いご思ひます。御承知の通り本會の趣旨、本會員ハ協力シテ會ヲ發展シテ爾ル爲メ互ニ親睦シテ會員相互救済法ヲ講究シ各自ノ幸福ヲ増進スルヲ以テ目的トス。内外ならぬので決して彼の極端忍辱なる豹虎の様な過激派的國賊に等しき行爲や、貪慾服、事を知らざる豹狼の

横濱港仲仕共濟會

毎月一回 我等の機關紙は生れたる發行 機關紙の發行は以前より計畫されてありましたが會務多忙の爲め其の發行が遅れました。明春發行の運びを改められたるに記す

● 寄留手續
横濱市に寄留を致す方は本會で便宜其の手續を致します。御申下下さい。
● 本會囑託醫師
本會の証書は左の通りであります。
松影町一、三六 龜の橋醫院
中村町二六〇 接骨醫山本友次

濟會機關新聞

豫告 本會の主義主張、會員諸君の意見、會員の消息、各地勞動運動の状況、名士の談話其の他記事豊富
廿日發行 會員諸君の投書歓迎す

- 投書規定
本會の機關新聞に投書せらるる方は如何なる種類でも宜敷い座りますが左の規定を守下され。
字体は明瞭にして下され。
匿名はいけません。若し匿名を希望せらるるなら別紙に住所氏名を明記して下さい。
投書の採用権は編輯部にあります。
大正九年十二月二十九日

諸君よりの贈金を取纏めまして暖原金三郎君に百二十圓、林博道君に百七十二圓、加藤甚吉君に百五十六圓二十錢を其の遺族に贈呈致しまして。目下西山金次郎君清野兵次君及び中村智三郎君の諸氏に對する見舞金を取纏中であり。尙我國史以來の大慘虐をうけました。尼海遺難者の遺族には諸君より贈金せられたる手を経て寄附致しました。又本年度入替者八名に對しましては僅少ながら金堂圓宛を贈呈致しました。其の他本會で手帳を致しまして濟生會療院横濱市立療養院等に入院者しくは治療を受けさせました。數家は崖崩の遺難者救済會員及び其の家族の冠婚葬祭に敬意を表しました。数は紛なからなひのであります。會員間の傷病者を知る事には各方面を分りま無き様を期してあります。付しましては調査漏れがあるので誠に遺憾の次第であります。何卒傷病者がありましたら部屋頭若しくは友人の御方は至急其の都度本會に御報せを願ひ度いので其の御希望により本會の囑託醫便宜も計ります。購買部は七月設置致しました。以來主として作業用の足袋、手袋、シャツ、手かぎ等を市價よりは安價に販賣致してあります。が十一月末日迄の仕入金額は五百九十七圓十五錢で賣上金額は二百九十一圓五十二錢で誠に振はない次第であります。何卒購買部を利用しては本會創立及び發展に努力せられまされた理事長金永放平君は九月中東京方面

横濱私利私慾の爲めの運動は本法の趣旨では斷じてないのあります。から適當の派手な輕佻浮華にして世に衝ふ様な行爲で半頭狗肉的な人も冷然定まらなひ様な事は飽迄も避けて當に人道の軌道の上に立ちまして、正々堂々吾人の權利を主張します。共に一方には相愛扶助の主義によりまして會員相互の失業、疾病災厄、老廢等の救済に従事致します。次第であります。而して勞働者に對しては斷へず自覺を促かします。而して眞に自覺した勞働者となりません。而して眞に自覺した勞働者に致しまして労働能率を増大して國家社會に貢獻し自他共に幸福の増進を企て、眞の意味に於ける労働者終局の目的に向つて着々々々進めて致す。及々更に怠る事のないのが本會の目的であります。若し此の正義の運動に對し自覺せざる頑固愚劣な者や又は會の發展を阻礙押展するものあると致しますれば吾人も平和を檢愛しみだりに争闘を好む者ではありません。是に至りますれば敢て雲烟過眼視せずして旗鼓の間に權利の保障を求むるを許せ

ないものであります。故に此の進行をよく御阻礙下さい。ましてみだりに無根の風評に惑はれず益々團結の力を發奮にせられん事を賢明なる諸君に希望する次第であります。

● 徵兵検査簡點呼の手續
○ 本會で御便利手續を致します。
大正十年年度の徵兵検査(明治三十二年十二月二日迄の間)に相當する方々で本籍地は御郷郡なく當横濱市に於て検査を受けられ度き方々は未教育補充兵等の軍籍に在る方々を除き横濱市で簡點呼を受けられ度き方々は全くと明年三月三十一日迄に横濱市役所に手續を致さねばなりません。其の手續は本會に於て便宜致します。可く早く期日前に本會迄で御遠慮なく御出下され。

横濱市壽町二丁目百二十七番地
横濱港 共濟會編輯部
電話長番町二四五七